

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	宮嶋佑
学籍番号	1018167
クラス	C
配属時における学習目標は何でしたか。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 作業を楽しく行う方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	コロナウイルスの中、コミュニケーションを取る方法が、オンラインが主となった。共同作業などを進めていくにあたって、顔を実際に合わせずにコミュニケーションを行うと、意見の相違が生まれやすい。その中で、文面などをいかに端的に伝えるか、また、的確に伝える方法として、箇条書きにするなど、相手に伝わりやすいコミュニケーション方法を特に心がけた。そして、前期は技術、知識の習得、作業を楽しく進めていく方法を重視した。新しい学びをする上で、まずは、レベルを低く設定して、吸収できるものは全て吸収していくことを心がけた。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	複数のメンバーで行う共同作業; 発表（含むポスターの作成）方法; 技術・知識の応用方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
（9 の質問で学習目標が変化した学生） 学習目標が変わった理由は何ですか？（200 文字以上）	前期は、初めての経験や学習、作業が多くあったので、基本的なことを重視して学習目標を設定した。後期からは、ステップアップとして、学習目標を応用的な目標に変更した。

	<p>学習目標を、技術、知識の応用、作業を効率的に行う方法といった、前期よりも1段階上に設定することで、自分自身のさらなる成長につなげたいと考えている。また、中間発表では、発表方法に個人的にはまだ、納得いかなかった部分が多々あったので、学習目標として、設定した。</p>
<p>後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)</p>	<p>プロジェクト全体での作業をさらに積極的に参加していくのはもちろんだが、個人的な学習をさらに深く時間をかけるべきだ考える。後期では、実際にロボットを作っていく。その中で、基本的な知識を土台とした、応用的な技術を使う場面が、今よりも増えていくと考えられる。応用的な技術を使っていくためにも、個人の学習の時間で、基本的な学習に時間をかけていく必要があると考える。また、前期での経験を生かし、さらに効率的に、計画的に進めていけるように勤めたい。</p>
<p>前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200 文字以上)</p>	<p>前期の活動として印象的だったのは、主となる仲間とのコミュニケーション方法がオンラインであったことである。コロナウイルスの中で、前期は顔を合わせてコミュニケーションをすることはほぼなかった。また、自分自身、ここまでオンラインのコミュニケーションツールを使って、コミュニケーションを密に取ったことはなかった。オンラインならではの、コミュニケーションの取り方の難しさ、そしてどう工夫すべきかが学べた。後期では、対面での活動になることを願いつつも、オンラインでのコミュニケーション方法について、さらに工夫できる点があるかなど、オンラインでのコミュニケーションに磨きをかけていきたいと感じた。</p>